

# 幸せの黄色いチラシ

皆様のお役に立つ情報をお届けします。(2022年9月27日発行) 第200号



こんにちは！店長小林です。皆様に「読んでるよ！」「楽しみにしてるよ」と、お声がけいただいている本「幸せの黄色いチラシ」ですが今月は区切りの200号！今後も毎月発行を目標に号を重ねてまいりますので、引き続きのご愛読をお願い申し上げます（お買い物も御願いますネ！(^)）。ということで、今月のA面はメガネの特集、B面は200号発行までの軌跡を掲載いたしました。



おかげさまで創業60周年！  
10月の「創業記念プレゼント」は、もちろん！ハロウィーンのお菓子です。



## 当店のSDGsへの取り組み

「人類がこの地球で暮らし続けて行くため2030年までに達成すべき目標（SDGs）」に取り組むべく、当店では「つくる責任・つかう責任（地球温暖化の改善）」から古いメガネ・少し壊れたメガネをメンテナンスして予備用や用途の異なるメガネとしての再利用をお勧めしております。



メガネのメンテナンスは「フレームの型直し」→「パーツ交換」→「クリーニング」→「注油」が主な工程となりますが、下の写真のような破損修理も可能なんです。修理の料金と納期の目安は「破損箇所1箇所¥5,000～」で納期は1週間程度（メッキ加工は+2週間）



修理の料金と納期の目安は「破損箇所1箇所¥5,000～」で納期は1週間程度（メッキ加工は+2週間）



## ちょっとコーヒブレイク

「お陰様で200号達成！」



プラモデルを完成させたことがない、通信講座の課題提出も3回までと三日坊主の国からやってきたような店長小林ですが、店のチラシに関しては自分でも驚くほど続いています。これも一重にお客様のご支援とご声援に後押しされてのことで心より感謝しております。思えば1997年（平成9年）の7月に第1号（裏面参照）を手配りしたのが始まりでした。その翌月には次女が誕生し、「ちょっとコーヒブレイク」ではネタに困った時の子供頼り（笑）ということで頻りに我が子3人が登場していますので、25年分のチラシ=オプト家の歴史と言っても過言ではないと思っています。



創業60周年の年に記念すべき200号のチラシを発行でき無量ではありますが、今後も皆様のお役に立てる情報を発信し、地域に根ざした店を目指し邁進してまいりますので、引き続きのご支援・ご愛顧のほどよろしく御願申し上げます。

# 来月1日はメガネの日



# 10日は眼の愛護デー



当店では「メガネの修理や旧フレームの再利用・レンズ交換」を積極的に行うと共に、最新の測定機器や加工機械を導入し、常に精度の高いメガネの作製を心がけております。また視力の出にくい方や、見え方に不安を感じておられる方には眼科の先生をご紹介しますので、どなた様も安心してご来店下さいませ。

## 当店ではこのようにしてメガネをお作りしています（作製手順）



- ①機械に頼らず、様々な方法を用いて「目の状態」や「目の使い方」を測定します。
- ②二種や大型免許の更新前に深視力のチェックをしていただける「三稜計」も導入しました。（アドバイスもいたします）
- ③たくさんあるブランドの中から好きなフレームをお選び下さい。（アドバイスもいたします）
- ④フレームを掛けた時の瞳の位置を測定し、レンズの中心と一致するようにデータ化します。
- ⑤加工は全自動加工機で行いますが、最後は手摺機でベストなサイズに調整します。

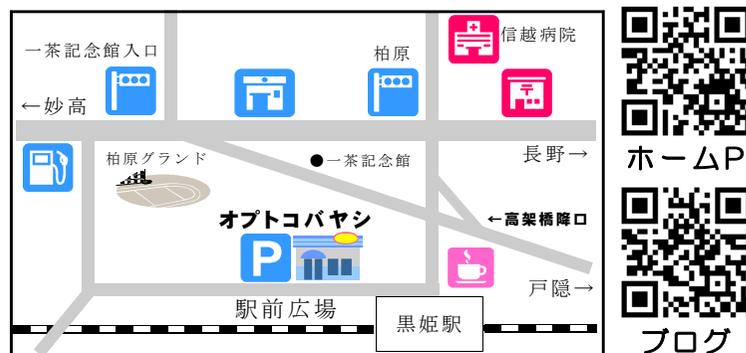
## メガネはフィッティングが命

上記のような最新の測定機器を利用してもフィッティング（掛け心地調整）が不十分だと良いメガネだとは言えません。当店では埼玉眼鏡研究所横田先生の「正確に作られたメガネでも、安定して掛けられなければ意味が無い」つまりフィッティングがメガネの命であることに賛同し、レンズの中心と瞳の位置を一致させ、疲れにくく快適な掛け心地のメガネをご提供いたします。



20本以上の工具を使用します。 複数の工具でメガネの角度調整 耳へ掛ける部分を丁寧に曲げます 耳やお顔の形にピッタリ合わせます 鼻パッドもベストフィット！

左の写真は横田先生のHPからお借りして掲載させていただきました。



ホームP ブログ



各種カード・地域パスポートをご利用いただけます。

メガネ・補聴器・時計・時計修理と電池バンド交換・宝飾品・指輪のサイズ直しとリフォーム



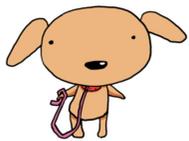
障害者総合支援法指定店 日本補聴器販売店協会正会員 「SS級認定眼鏡士」テクノエイド協会「認定補聴器技能者」の店

営業時間：8時～19時 定休日：土曜の午後 毎週 日曜日 ☎ 026-255-2452

メガネ・補聴器共に少々お時間を頂戴し、丁寧な調整を心がけております。初めてのご来店の際にはお待たせしないためにも、事前の電話予約お勧めいたします。

裏面の「オプト散歩」は本チラシ200号の発行を記念して、第1号からの歴史をご紹介します。 →

【はみ出しコラム】「ちょっとコーヒブレイク」は1号から、「オプト散歩」は117号から掲載していますので、今読みなおしてみると古いアルバムを見ている感じです。機会があれば製本化して家族に残そうかな？と本気で考える店長小林です。



「オプトコバヤシの店長が、地道に足で稼いだ地域情報やニュースをお届けします。」

# オプト散歩

## 「幸せの黄色いチラシ200号までの軌跡」

その昔、中小小売店のチラシといえばメーカーが作ったモノに店名を入れて配るのが一般的でした。しかしバブル崩壊後はそのようなサービスも廃止され「ではどうしよう？」そこで考えたのが手作りチラシ。たまたまパソコンとワープロソフトが手元にあったので、手紙やハガキを書く要領で作製し、信濃町商工会さんの印刷機をお借りして印刷したのが始まりです。（現在は印刷機を購入し、店の奥で夜な夜な（笑）印刷しています）

「この期にあつてよかった…」そういわれる目を狙います

### OPT PRESS

(オプト コバヤシ新聞 VOL. 1)

日頃より格別のお引き立てを厚く御礼申し上げます。おかげさまで当店は、今年で創業36年ならびに店舗改装(改名後)も周年をむかえる運びになりました。これを機会に、お客様のご支援の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。そして、今後さらに皆様方に愛され、お役に立てる店になるにはどうしたらいいかと考え企画いたしましたのが今回お届けします「OPT PRESS(オプト新聞)」です。

メーカー主導型のチラシ広告では、店の個性はもちろん、本誌にお届けしたい商品や店独自のサービスをお知らせすることができません。そこで、きれいな写真や、しゃれた文章はごまかさないように編集を心がけます。今後定期的に発行致しますので、お欠きの点、お知りになりたい情報等ございましたらぜひお聞かせ下さいませ。そして、今後とも信濃町ご愛顧のほどよろしくお願い致します。

オプトコバヤシ 店主

今回のお奨め商品

★ 復たきスライミングゴーグル

メガネと同じようにスライミングゴーグルにも度數が入ります。快適な視力を約束いたします。(1式 ¥10,000円)

★ レインサンダース

紫外線を100%カットするサンダースです。もももとは、簡易ハイロケットに開発された商品ですが、ファッション性にも優れ、サンダースの代名詞ともなっております。(¥12,000円)

★ 10系圧防水眼鏡

夏は水に親しみ機会が多い季節です。水仕事や水泳の時、取り外し不要、はたまたま0.001の完全防水型同時防水を兼ね取りそろえてあります。(¥8,000円)

当店通常サービス

○ 送迎サービスいたします(無料)

○ メガネ・補聴器の点検調整にお伺いいたします(商品代のみ実費)

○ 時計や補聴器の修理中は、代替え機種をお貸しいたします

○ 急ぎの修理・調整をごまじましたら下記営業時間外でも対応いたします

夏のボーナスセールのお知らせ

7/25(金)～31日(木)

特典1 メガネ 時計・装飾品 お買得価格

特典2 店内の100円ポイント2倍返呈

特典3 上記の3つのお得にお客様に毎年恒例、サウコロで出た目の数だけ商品の当たる「もってけ用」をそろえてあります。

「ちょっとコーヒープレイク」

当店は5年前、アマゾマ納品から現在の「オプトコバヤシ」に改名変更いたしました。その多くは「オプトコバヤシ」と聞かれました。オプトとは英語のOpt(光)のオ、フィンはメカ(音)とヤシ(緑)の意です。でも、決してメガネ専門店でも、時計も装飾品も補聴器も販売してありますので、お気軽に！

「次回 OPT PRESS 予告」

梅雨の日にあわせて「補聴器特集」を企画しております。補聴器の種類や選び方、手入れ方法などをイラストを交えてご案内したいと思います。

メガネ・時計・貴金属・補聴器・CLケア用品

長野県福祉法指定店 厚生年金補聴器取扱店

### オプトコバヤシ

信濃町 柏原南風駅前 電話 255-2452

営業時間 午前9時～午後7時 毎週第1日(日)閉店後休

「この期にあつてよかった…」そういわれる目を狙います

### OPT PRESS

(オプト コバヤシ新聞 VOL. 1)

日頃より格別のお引き立てを厚く御礼申し上げます。おかげさまで当店は、今年で創業36年ならびに店舗改装(改名後)も周年をむかえる運びになりました。これを機会に、お客様のご支援の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。そして、今後さらに皆様方に愛され、お役に立てる店になるにはどうしたらいいかと考え企画いたしましたのが今回お届けします「OPT PRESS(オプト新聞)」です。

「この期にあつてよかった…」そういわれる目を狙います

### OPT PRESS

(オプト コバヤシ新聞 VOL. 1)

日頃より格別のお引き立てを厚く御礼申し上げます。おかげさまで当店は、今年で創業36年ならびに店舗改装(改名後)も周年をむかえる運びになりました。これを機会に、お客様のご支援の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。そして、今後さらに皆様方に愛され、お役に立てる店になるにはどうしたらいいかと考え企画いたしましたのが今回お届けします「OPT PRESS(オプト新聞)」です。

商工会で第5号印刷後、職員さんにお配りしたところ「紙の色変えたほうが目立つんじゃない？」と当時の関局長さんからアドバイスをいただき、この第6号から現在の黄色になり現在に至っています。

2ヶ月に1度のペースで作製し、試行錯誤しながら、少しずつレイアウトを変えています。まだ「読みやすく、わかりやすい」とは言えませんね。(^^) また「ちょっとコーヒープレイク」のスペースは現在の半分の8行。その後どんどん文字数が増えていくことを誰が予想したことでしょう。(^^)

2008年9月発行の第73号です。お陰様でチラシは認知いただいたものの、お客様からは「黄色いチラシ読んでるよ」と呼称はもっぱらチラシの色。

それならば！ということで思い切ってチラシ名を「幸せの黄色いチラシ」に変えました。もちろん高倉健と倍賞千恵子が夫婦役を務めたあの名画からのパクリです！（←堂々と告白）。そのためでしょうか？現在でも半数の方が口々にこうおっしゃいます。「いつも読んでるよ！楽しみにしてるよ！幸せの黄色いハンカチ」（←だから言わんこっちゃない）

「敬老の日」セール (9月2日09時)

★ 補聴器の無料検診・調整サービス

★ メガネの無料検診・調整サービス

★ 時計の無料検診・調整サービス

★ 貴金属の無料検診・調整サービス

★ 補聴器の無料検診・調整サービス

★ メガネの無料検診・調整サービス

★ 時計の無料検診・調整サービス

★ 貴金属の無料検診・調整サービス

「幸せの黄色いチラシ」

「この期にあつてよかった…」そういわれる目を狙います

### OPT PRESS

(オプト コバヤシ新聞 VOL. 1)

日頃より格別のお引き立てを厚く御礼申し上げます。おかげさまで当店は、今年で創業36年ならびに店舗改装(改名後)も周年をむかえる運びになりました。これを機会に、お客様のご支援の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。そして、今後さらに皆様方に愛され、お役に立てる店になるにはどうしたらいいかと考え企画いたしましたのが今回お届けします「OPT PRESS(オプト新聞)」です。

2015年、「しなの書房さん」の旧店舗にフリースペースが開設され、当店のお客様からも「どんな場所なの？誰が運営しているの？借りられるの？」等のご質問を多数頂戴しました。そこで「皆さんが知りたいのなら取材してチラシに載せちゃえ！」それがオプト散歩(117号から掲載)の始まりです。

タイトル名は、もちろん故地井武男さんの「ちい散歩」からのパクリです！（←再び堂々と告白）。「ブラオプト」も候補に挙がりましたが（笑）「プ」と「ポ」の破裂音が心地よく「オプト散歩」に決定！

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

ある方に「割高の（黄色い）紙を使って表面だけのチラシなんてもったいない！」そう言われ、慣れ親しんだ商工会と同じ印刷機を導入し、AB両面印刷を開始したのが2010年3月発行の第80号から。

印刷時間は倍になるも、店印刷ですので時間を気にせず刷れ、さらには印刷コストも下がりグッジョブかと思いきや内容（記事）も2倍になりました(\*.\*)。

そこで考えたのが写真やイラストの多用。調度画像編集ソフトも一般化された頃で、切ったり貼ったりしてのスペース稼ぎ。でも画像を見ての指名買いも増えて「苦あれば楽あり」提言者さんに感謝です。

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

「音」を楽しむ「会話」を楽しむ

「人生」を楽しみましょう！

2016年、同業者の友人に誘われて商人のバイブル「月刊商業界（2020年に休業）」のチラシコンテストに力試しと思い3月号の122号で応募したところ何と「奨励賞」を受賞しました。審査委員長からは「店の宣伝と言うより、ちょっとした情報を盛り込んだ読み物に徹しているところも素晴らしい。SNSを使うより、こうした折り込みチラシの方が地域のマスメディアとして効果がある」との評価をいただき大変励みになりました。

25年前に信濃町で産声を上げた本チラシは2014年からお隣の妙高市（関山地区まで）そして2018年からは飯綱町に折り込ませていただいておりますが、内容の半分が店長小林のコラム等のせいもあってか初めてご来店いただくお客様からは「初対面じゃないみたい」そんなお言葉も頂戴しております。そして200号は単なる区切れ！今後も引き続きご愛読くださいますようお願い申し上げます

最後になりましたが200号発行を支えてくださった商工会の皆様、新聞店の皆様、そして配布拡大を勧めてくださった某信用金庫のH支店長様に心より感謝申し上げます。

